

浅黄色と浅葱色は違う色だった

精霊流し（グレープ・さだまさし作詞作曲）という曲が世間で発表されたのは今からちょうど50年前の4月19日。私が中学2年生の時だった。この曲で私は初めて「あさぎいろ」を識った。

似た名称で優雅な飛び方をして、どことなく品格が漂う蝶「アサギマダラ」がいる。かつて教員になりたての頃、同じ学校に勤めていた理科の先生からこの蝶が「渡り」をすることを教わった思い出がある。

ところが最近になって、私はその蝶が好む特定の花の香りに集まる習性があることをスポーツクラブで知り合った友人に教えていただいた。

フジバカマという植物だ。

私がついつい欲しそうな反応を示したので友人の奥様が庭の苗を分けてくださった。無事に育てば秋には杉アトリエにもアサギマダラが優雅な姿を見せてくれるかもしれない。

このエッセイを推敲している時に浅黄色あさぎいろと浅葱色あさぎいろは違うことに気が付いた。平安時代よりこの二つの色は混同されやすいそう。蝶のアサギマダラはその形状から浅葱色あさぎいろであり、曲の精霊流しのあさぎいろは浅黄色と書かれているのであさぎいろのようだ。私は精霊流しという曲は耳で聴いて覚えていたので、あさぎいろはあさぎいろだとイメージしていました。

2024年4月

♪ あなたの愛した母さんの

今夜の着物は浅黄色← あさぎいろ

わずかの間に年老いて 寂しそうです

さだまさし「精霊流し」より抜粋



アサギマダラ



←杉アトリエに植えたフジバカマ